

2021年3月9日 千葉大学アカデミック・リンク・センター
第5回 ALPS セミナー
COIL（海外連携で行うオンライン協働学習）による国際教育交流の新たな展開
—コロナ禍におけるグローバル人材育成の可能性を探る—
参加者アンケート（オンライン：Zoom）
当日参加者数： 96名 アンケート提出数： 27件

本セミナーについて、参加者の皆様から寄せられたご意見・ご感想を以下に掲載いたします。なお、原則原文のまま掲載しておりますが、個人名・組織名が特定できないよう事務局で若干の調整をおこなっておりますことをご了承ください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・そもそも COIL がどのようなものが知らなかったのが、概念から実際の事例まで紹介して頂き、勉強になった。
- ・渡航型の留学に代わる、あるいはそれを補う交流の形を勉強させていただきました。
- ・COIL の具体的な活用事例を知ることができて、今後の授業デザインのヒントを得ることができた。
COIL をコロナ禍における留学の代替措置と捉える認識が自分自身にもあったが、池田先生はそれぞれの目的が異なる、と断言されていたのを聞いて、その認識を改める機会となった。
- ・COIL そのものに馴染みがなかったため、COIL の定義と実施されている内容を聞いたこと全てが新しい発見でした。
- ・オンラインでの協働学習の効果的な運営の方法がよくわかりました。
- ・COIL の取り組みについてはこのセミナーを通して初めて知りましたが、先生方お二人のお話がとても分かりやすく、COIL がどんなものなのか、また留学とは違ったどのような良さがあるのかよくわかりました。
- ・COIL の取り組み事例が参考になりました。特に、非同期型と同期型を組み合わせられて展開されていることを初めて知りました。
- ・COIL はオンライン留学ではなく国際教育交流なのだ、という池田先生のコメントが大変よく理解できる内容でした。
- ・COIL についての初心者でしたが、具体的にどのようなものか理解できました。
- ・具体的な事例と Q&A で、実際に取り組む際に焦点とすべきことが分かりやすく、大変参考になりました。
「グループワークではなく、チームビルディングだ」という言葉が印象的でした。
- ・COIL の概要や大学の学修全体の中での位置づけ等 COIL の基礎知識から、実際に運用する際の注意点など基礎から運用まで全体的な知識が得られた。
- ・COIL の全体像および実際の授業内容について
- ・COIL のことを基礎レベルからご説明くださったのでよくわかりました。他大学や千葉大学で実践されている COIL のこともよくわかりました。
- ・ICT、プラットフォーム等に目が行きがちだが、学習目標をたて、達成へのデザインが重要ということ。
- ・COIL の定義付けさえ理解していなかった。海外とのオンライン協働学習がどのようなものか、初めて理解した。
- ・COIL についての具体的なやり方や例がよくわかりました。
- ・COIL についての知識がなかったので、オンライン留学との違いについては特によく理解できた。そもそもモチベーションが高い学生が参加している、という実践例を伺った点において、そうではない学生の参加が想定される教育機関（本学）では導入のための設計にかなりのチャレンジが必要になると感じる。非同期型学習を入れて実施される点においてはオンライン授業より参加しやすい形で出来るようにも感じた。
- ・COIL もよくわからない状態で受講させていただいたのですが、オンラインでの活動が充実してきている今、国境を越えた遠隔地との協働学修による国際人材育成の重要性や意義深さもよくわかりました。ありがとう

ございました。

- ・COIL とは何か、他の教育システムとの違いや特徴がよく分かりました。
- ・COIL が学生の国際経験の促進に、役立つツールであることが分かった。
- ・Society5.0 で求められる人材像について。別のプロジェクトでも関連する内容に向けた調整が必要となっていたため、とても参考になりました。COIL の協働についてプログラムを構築するときのステップや考え方、要素などとてもよく分かりました。
- ・コロナ禍で人の往来が制限されてしまいましたが、その分、ICT を活用した学習が進化したことはよかったと思います。コロナは怖いですが、悪いことばかりではないとあらためて思いました。
- ・coil の実際の授業例が理解できた。
- ・COIL について、名前だけは聞いたことがあるが、言葉の意味を調べても今一つ理解できなかったのですが、具体的な事例を紹介して頂き、どういう活動であるかということがやっとイメージできました。ありがとうございました。”

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・地方の中小大学では教職員の力量やシステムの欠如によって限界があるのではないか。
- ・千葉大学の COIL では、学生の英語力の問題があるためか、Moodle を活用した文字交換によるコミュニケーションが運営の中心になっていて、特に英語力がプアな学生がどれくらい理解し学修成果が出ているのかが良く分からなかった。
- ・一番初に行う構築方法の実際
- ・初心者なのでわからない部分はあったものの、何とかついていけるスピードで簡潔にお話しただけだと思う。クラスサイズが 50 名以上など大きい場合、グループに分かれて課題に取り組みせるときに、グループの進行度合いや達成度の違いなどを教員はどのように把握し、またかかわるのか、など具体的な詳細をもう少しうかがいたかった。
- ・coil の効果について積極的な学生が受講するという話がありました。それは当然のことだと思いましたが、消極的な学生にも、何とか、機会を与えられないだろうか。
- ・事例紹介中、システムの利用方法、システムの特徴を生かした運用法については、実際のそのシステムを使ったことが無いので、イメージしにくかった。現在自分たちが利用しているシステムで同じことを実現しようとする、どの機能をどう活用すれば実現できるのか、調べてみます。いずれにせよ、事例をきくことにより前に進むことができるので、大変ありがたいと思いました。”

3. 大学における教育・学修支援の在り方についてのお考え、教育・学修支援のために必要と思う資質・能力、また、教育・学修支援のご所属先での取組事例やご存知の特徴ある事例などがあればお書きください。

- ・協働学習の成果物として動画制作を活用している事例
- ・COIL も含め、既存の枠組みにとらわれない取り込みを、どのように既存の枠組みから大きく逸脱せずに行うかが、小規模大学の課題であると感じた。
- ・私は英語を教えています、学生が COIL に参加して困らないような英語力をつけるには、どのような指導をすべきなのかという視点を得られたと思います。自分の授業を振り返るきっかけにもなりました。
- ・大学組織は、内向きになりがちだが、学生の学修のために外と連携して自ら外へと開拓していく力。
- ・教育の現場に長らく関わっていないが、オンライン教育がどんどん進化して、用語や理解が追いつかなくなってきた。
- ・留学生への日本語教育支援を担当していますが、必要なのは単に日本語力を高めることだけではなく、まさに「人材」としての総合的な能力だと感じています。
- ・他業種を経ての大学職員となり 1 年を経過した。学修支援においては、学生が抱える問題点をはっきりさせ

ないまま進めている様子が教員・職員にみられる。池田先生がおっしゃっていた COIL における問題解決への対策は COIL に限らないことにもつながるもので、各学生が何につまづいているのか本人も周りも自覚しておらず、それを探ることが周りの人間の支援になるように感じる。また、教員・職員と学生のジェネレーションギャップもあり、支援がニーズに合っていないようにもみられる。私自身手探りで、まだ何も効果的な手を打っていない。そもそもは大学たるもの教わる場所ではなく個人が学ぶ場所、と思っていたが、時代は変化していたことをやっと少し理解し始めている。想像以上に、教えること、しかも答えではなくアプローチを教える必要があり、また、教員だけではなくそこに職員も関わる必要性を感じ始めている点で、まだまだ小さな反発心を持ちつつ多大な模索が続いている。

- ・本日の授業例の話聞き、授業によっては、同じ学部であっても学年を超えたり、あるいは複数学部で構成したりなど、受講者の多様性を加味する授業がもっとあってよいと思いました。相互の学びあいがあるよう思ったので。

4. 本日のオンラインセミナーを受けてみて、ご不便に感じたこと、改善してほしいことがありましたら、ご自由に記入してください。

- ・とても良かったです。休憩を含めた質問時間を長くとってくださったのでありがたかったです。
- ・音声も非常に聞きやすく、映像もよく見えました。対面よりもいいです。資料を印刷して臨みたいので、事前に資料を配布いただければ幸いです。
- ・不便、改善してほしいことは全くございません。自宅からセミナーに参加ができ快適でした。
- ・不便さは全くなかった。音声や画像の乱れもなく、大きい会議室等よりもわかりやすかったかもしれない。
- ・言葉が聞き取れないところがあった。かなり重要な言葉に思えたので、リアルタイムでチャットで質問できればよかったと感じる。
- ・講師の配布資料をいただくとあとからでも確認できるので、ありがたいです。
- ・良く出来ていました。
- ・音声・映像もクリアで、問題ありませんでした。

5. 本日の内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・実際の事例が聞けたのがよかった。また、質疑応答の時間が比較的長くとり、色々な質問に対して答えていただいたのも勉強になった。
- ・詳細な実践例の紹介を今後お願いします。
- ・質疑応答の進行がうまくコントロールされていて、大変聞きやすかったです。
- ・最後に池田先生がお話しされた、COIL とは完全に新しいものではなく既存のいいとこどりの教育プログラム、という話が一番印象に残りました。職員として、また小規模大学としてどのように取り入れていけるか、引き続き考えていきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とてもスムーズに運営されたセミナーだったと思います。
- ・随所になるほどと思うキーワードがあり、COIL に限らず学ぶことが多いセミナーでした。大変有難うございました。
- ・大変勉強になりました。本日のご講演内容を参考に、本学でも COIL を実施してまいりたいと思います。
- ・とても良かったです。ちょっと休憩時間が長かったです。
- ・本日はありがとうございました。とても興味深い内容でした。

